

第1号 一九六三・二 横浜市の未来像

第2号 一九六四・二 横浜市の行政水準

第3号 一九六四・六 子供を大切に市政

第4号 一九六四・八 だれでも住みたくなる都市

づくり

第5号 一九六四・二 海外から見て横浜を考える

第6号 一九六五・二 地方行政の改革と近代化

第7号 一九六五・五 宅地開発の現状と対策

第8号 一九六五・八 戦後20年―市行政の再検討

第9号 一九六五・二 「横浜の都市づくり」に提

案する

第10号 一九六六・二 区役所問題

第11号 一九六六・五 横浜文化論―新しい文化の

創造は可能か

第12号 一九六六・八 首都圏と横浜

第13号 一九六七・二 新しい横浜の記録

第14号 一九六七・六 大都市圏の問題

第15号 一九六七・九 行政の再点検と提案

第16号 一九六七・二 続 行政の再点検と提案

第17号 一九六八・二 公害対策―横浜方式

第18号 一九六八・八 二〇〇万都市

第19号 一九六八・〇 郊外部開発の諸問題

第20号 一九六八・三 転換期の福祉行政

第21号 一九六九・三 市民の安全

第22号 一九六九・八 都市と緑

第23号 一九六九・二 都市化と老人問題

第24号 一九七〇・一 基地と市民運動

第25号 一九七〇・三 京浜工業地帯

第26号 一九七〇・六 余暇とその環境

第27号 一九七〇・二 都市廃棄物

第28号 一九七一・三 六大事業の経過と今後の方

第29号 一九七一・三 新市民と自治

第30号 一九七一・六 水資源と水行政

第31号 一九七一・九 住宅問題の諸側面

第32号 一九七二・三 自動車化と道路・交通問題

第33号 一九七二・三 都市環境と生物指標

第34号 一九七二・六 都市化と財政

第35号 一九七二・九 住民と「知る権利」

第36号 一九七二・三 住民の要求と行政の対応

第37号 一九七三・三 地方公務員と職業倫理

第38号 一九七三・六 住工混合地域の環境整備

第39号 一九七三・九 大都市における地域行政

第40号 一九七三・三 大地震の対策と不安

第41号 一九七四・三 都市と精神の問題

第42号 一九七四・六 都市エネルギーの諸問題

第43号 一九七四・九 出稼ぎ労働の問題点

第44号 一九七四・三 消費者と物価

第45号 一九七五・三 「福祉」問題再考

第46号 一九七五・六 都市と家族の問題

第47号 一九七五・九 アーバンデザインの課題

第48号 一九七五・三 地方財政危機をめぐって

第49号 一九七六・三 区民生活と行政の対応

第50号 一九七六・六 都市行政の主体性

第51号 一九七六・九 都市のなかの川

第52号 一九七六・三 都市と港湾

第53号 一九七七・三 横浜の文化と行政

第54号 一九七七・六 市民の医療と行政

第55号 一九七七・九 都市における学校

第56号 一九七七・三 低成長下横浜の行財政

第57号 一九七八・三 地区計画と住民

第58号 一九七八・六 都市における資料館

第59号 一九七八・九 横浜の緑と保存

第60号 一九七八・三 横浜の盛り場

第61号 一九七九・三 地域施設の管理・運営

第62号 一九七九・六 都市と子ども

第63号 一九七九・九 横浜の地下

第64号 一九七九・三 市民の食料と食生活

第65号 一九八〇・三 横浜の国際性

第66号 一九八〇・六 歩行者空間

第67号 一九八〇・九 市民と健康

第68号 一九八〇・三 老人問題と福祉行政

第69号 一九八一・三 都市の自治

第70号 一九八一・六 都市住宅問題をめぐって

第71号 一九八一・九 共生の時代

第72号 一九八一・三 婦人問題

第73号 一九八二・三 アジアの都市と横浜

第74号 一九八二・六 横浜と農業

第75号 一九八二・九 横浜と工業

第76号 一九八二・三 都市と水環境

第77号 一九八三・三 職員の自主研究

第78号 一九八三・六 市政情報の整備と利用

第79号 一九八三・〇 横浜市政と行政

第80号 一九八四・二 高齢社会の課題

第81号 一九八四・三 市民・地域・行政

第82号 一九八四・九 緑保存の方策

第83号 一九八四・二 横浜と商業

第84号 一九八五・二 福祉と民間活力

第85号 一九八五・三 区行政―あり方と個性ある

第86号 一九八五・〇 都市とイベント

地域づくりの試み

地域づくりの試み

地域づくりの試み

地域づくりの試み

地域づくりの試み

地域づくりの試み

地域づくりの試み

第87号△一九八五・三▽横浜の産業政策―企業

誘致活動を中心に

第88号△一九八六・二▽市民と図書館

第89号△一九八六・三▽国際化時代の市民と行政

第90号△一九八六・九▽まちの活力と行政

第91号△一九八六・二▽家族機能と自治体行政

第92号△一九八七・一▽横浜の公共交通

第93号△一九八七・三▽地域情報・行政情報

―横浜の広報力を考える

第94号△一九八七・六▽博物館を考える

第95号△一九八七・九▽子どもとまち

―遊び・自然・まちづくり

第96号△一九八七・三▽都市とごみ

―ごみとの共存をめざして

第97号△一九八八・三▽まちの特徴づくり

―歴史、文化とのかかわ

りのなかで

第98号△一九八八・六▽みなと

―現状と新しい動き

第99・100号△一九八九・一▽横浜論

第101号△一九八九・三▽市民と生涯学習

第102号△一九八九・六▽89・職員の自主研究

第103号△一九八九・九▽車社会を考える

第104号△一九八九・三▽都市生活とメンタルヘルス

第105号△一九九〇・三▽横浜―東京圏の中で考える

第106号△一九九〇・六▽情報化社会と市民

第107号△一九九〇・九▽エネルギー―地球環境の中

で考えるPART I

第108号△一九九〇・三▽エネルギー―地球環境の中

で考えるII

第109号△一九九一・三▽身近なまちづくり

―地域施設を中心に

第110号△一九九一・八▽都市と大学

―地域との関わりを考え

る

第111号△一九九一・三▽職員の自主研究・施策研究

―政策研究を目指して

第112号△一九九二・三▽市民の自主的活動

―新しい共同システムづ

くりを探る

第113号△一九九二・九▽成熟社会における都市づく

り

第114号△一九九二・二▽自治体における調査

―調査から施策・事業へ

第115号△一九九三・一▽横浜の市民生活―課題と解

決の方向

第116号△一九九三・三▽都市の魅力

―第三の生活空間―

第117号△一九九三・九▽行政課題研修

―新総合計画への提案

第118号△一九九三・三▽横浜港の明日

―総合港湾への模索

第119号△一九九四・三▽大都市と地方分権

―市民生活の視点から

第120号△一九九四・二▽横浜のコミュニティ施策

―市民と行政のパートナー

シップを求めて

第121号△一九九四・三▽大都市交通体系の確立に向

けて

●第117号(一九九三年九月)  
特集・行政課題研修―新総合計画への提案

市民の自主的活動と企業の社会貢献 ― 第3グループ  
水と緑と野生生物をよみがえらせ豊かな生活都市をつくる政策  
市民参加による身近なまちづくり ― 第4グループ  
横浜の下町の良さを生かしたまちづくり ― 第9グループ  
在宅ケアサービス拡充にむけての基本的考え方 ― 第11グループ

最終廃棄物のもつ課題と処理システム

パブリックアートはまちを変えられるか ― 第13グループ  
行政研究/市民の自主的まちづくり活動支援のあり方と  
その展開 ― 第17グループ

―内藤恒平・倉知秀朗・網河功・斎藤由美子・佐藤康博・関口昌幸  
新書紹介/都市再生 ― 續橋宏昭

●第118号(一九九三年十二月)  
特集・横浜港の明日―総合港湾への模索

総合港湾を目指す横浜港  
①長期ビジョン―躍動する総合港湾―の考え方 ― 安武啓揮  
②貿易構造の変化に対応した物流機能の強化を目指して ― 中根 忠  
③横浜臨海部の産業活動と港の役割 ― 金子延康・脇 章次

④「うるおい」のある総合港湾をめざして ― 板坂健治  
横浜港の主要事業と今後の施策展開の方向  
①二十一世紀の総合物流拠点としての南本牧ふ頭 ― 荻島尚之

②港湾再開発としての「みなとみらい21」 ― 三好誠人  
③金沢マリーナ事業 ― 木村裕毅  
④横浜市のFAZについて ― 佐藤守利

港湾経営と自治体財政  
①これからの港湾経営 ― 金 亨泰  
②横浜港の管理・運営と財政 ― 小田正治

「都市と港湾」から「都市における港湾」へ  
―今関三貴也・大塚 宏・宮浦修司

二十一世紀への港湾 ― 片桐正彦  
新書紹介/文化が地域をつくる ― 山口景司

●第119号(一九九四年三月)  
特集・大都市と地方分権―市民生活の視点から

大都市と地方分権 ― 鳴海正泰  
大都市制度のしくみと沿革 ― 金子宣治・石川美枝子  
地方分権と大都市制度の問題点  
①地方分権と大都市制度の問題点 ― 吉田民雄  
②横浜市の事例  
その1・都市計画分野

― 林 琢己・大蔭直子・鈴木 彰・武井和弘  
その2・運輸分野 ― 出口則夫・菅沼 稔・加賀生雄  
その3・福祉分野 ― 甲能 迪

その4・大都市における市民参加と区行政  
鈴木 隆・竹内 隆・寺岡洋志・小沢 朗・高安宏昌  
大都市の財政構造

①大都市財政のしくみと問題点 ― 三好弘人  
②地方財政の数量分析 ― 林 宜嗣  
これからの大都市政府像 ― 新川達郎  
新書紹介/日本の行政 ― 竹田良雄

●第120号(一九九四年十月)  
特集・横浜のコミュニティ施策―市民と行政のパートナーシップを求めて

座談会これからのコミュニティ施策  
―草野恵一・林 泰義・高秀秀信

コミュニティ行政基礎調査の報告―コミュニティ行政研究会  
①なぜコミュニティ行政か

②調査結果のポイント  
③六地区コミュニティ実態調査

その1・西区藤棚地区  
その2・鶴見区生麦地区  
その3・港北区菊名地区

その4・金沢区並木地区  
その5・緑区藤が丘地区  
その6・瀬谷区阿久和地区

④地区センター調査  
⑤他都市のコミュニティ施策調査

コミュニティ施策への提言―コミュニティ行政研究会  
①コミュニティ行政の目的と基本姿勢  
②コミュニティ施策への具体的提言

行政研究/地区センター建設をめぐる住民参加の諸問題  
―村田和義

新書紹介/建設はじめて物語  
―内藤恒平

# 調査季報

# 121

1994年12月

編集・発行

横浜市企画局政策部調査課

〒231-80 横浜市中区港町1-1

TEL.045-671-2029

1994年12月20日発行

横浜市広報印刷物登録

第060183号

類別・分類 A-BA101

デザイン サウスピア

印刷 東邦印刷株式会社

ISSN0387-8899